

明治三十年十月創立當時	一一〇、〇〇〇
全 三十八年八月第一回増資後	二四〇、〇〇〇
全 四十年三月第二回増資後	六〇〇、〇〇〇
大正六年四月第三回増資後	一、二〇〇、〇〇〇
全 九年三月第四回増資後	三、〇〇〇、〇〇〇
全 十年九月合併増資後	三、四八〇、〇〇〇

◎營業ノ目的

- (1) 樂器並ニ樂器附屬品ノ製造及販賣
- (2) 樂器ノ原料並ニ部分品ノ製造及販賣
- (3) 樂器ノ賃貸
- (4) 音樂ニ關スル圖書ノ出版及販賣
- (5) 音樂的玩具ノ製造及販賣
- (6) 家具裝飾品ノ製造及販賣並ニ木材ノ加工及販賣

◎製造品目

- (1) オルガン (山葉オルガン、西川オルガン)
- (2) ビアノ (山葉ビアノ、西川ビアノ、山葉自働ビアノ)
- (3) 蝶印ハーモニカ、卓上ビアノ、卓上オルガン、シロホン
- (4) 蓄音機 (バイオニヤ)
- (5) ベニア板 (建築用、船舶汽車用
家具用、飛行機並フロート用)
- (6) 木工製品
- (7) 飛行機用螺旋機

◎沿革ノ大要

明治十八年以來故山葉寅楠個人ニテオルガン、ビアノノ製造ニ從事シ拮据經營漸ク有望ナル一事業トシテ認メラル、ニ至レリ
 明治三十年十月資本金拾貳萬圓ヲ以テ當會社ヲ創立シ山葉寅楠取締役社長トシテ專ラ經營ニ任シ山葉ビヤノ、山葉オルガンノ製造販賣ニ努力シ年ト共ニ隆昌ノ域ニ進ミ明治三十五年三月山葉寅楠個人ニ對シ勅定ノ綠綬褒章ヲ賜ヒ其善行ヲ表彰セラル、コノ一事ヲ以テスルモ如何ニ西洋樂器ノ製造販賣カ學校並ニ家庭教育上資スル所多カリシヲ知ルニ足ル可シ

日露戰役終局後ニ際會シ一般財界不況ノ影響ヲ蒙ル事甚大ニシテ經營甚困難ヲ極メタル際大正元年八月天野千代丸取締役副社長トシテ入社シ山葉社長ヲ補佐シテ銳意之レガ救済ニ努メ内容改善ヲ行ヒ經營ノ方針ヲ確立シ放散セル資金ヲ集中シ專ラ健實ナル整理ヲ實行シ次テ大正五年八月山葉社長病歿後ハ推サレテ社長ニ就職シ大正六年四月及大正九年三月ノ兩度資本金ヲ増加シ益其根柢ヲ鞏固ニセリ

歐洲大戰以來財界ノ活氣ニ伴ヒ音樂趣味ノ向上モ亦著シク樂器ノ需要頓ニ増大シ加フルニ一般的家具ベニア等ノ製作ヲ開始シタルニ恰モ時機ニ投ジ需要續發シ今ヤ樂器ト共ニ本社ノ主要製品トシテ聲價ヲ高メツ、アリ

又ハーモニカ及玩具樂器類ノ製造ヲ始メタルニ歐洲大戰中ハ英米兩國ヲ主トシ海外ニ輸出セシモノ頗ル多クシテ蝶印ハーモニカノ名聲ハ全世界ヲ覆フニ至レリ加之大正十年三月飛行機用螺旋機ノ製造ヲ開始シタルカ頗ル良好ノ發展ヲ爲シ今ヤ主要製品ノ一ニ數ヘラルルニ至レリ

更ニ大正十年九月西川樂器製造株式會社ヲ合併シテ横濱工場ヲ開設シ品質ノ統一並ニ改良ヲ期シ着々整理ノ歩ヲ進メタルヲ以テ業績日ヲ逐フテ舉ガルニ至レリ

斯ク事業ノ發展ト共ニ本社工場ハ益々狹隘ヲ感ジタルヲ以テ大正八年市内中澤ノ地ニ貳萬數千坪ノ敷地ヲ購入シ現代ニ適應スル理想的工場ノ建設ヲ企圖シ大正拾壹年十一月其工事全部竣工シ移轉ヲ了シタリ爾後新設備完成ニ伴フ製造能力ノ増大著ルシク其成績劃然トシテ認メララルルニ至レリ